

刈田岳・熊野岳 山行報告】

【山域】蔵王連峰

【ルート】すみかわスノーパーク→熊野岳→刈田岳→すみかわスノーパーク

【登山方法】雪山登山

【日程 天気】2019年3月2日（土）～3日（日） 晴れ

【参加者】CL 鈴木憲二 鈴木愛子（記録）

【行程】

○3月2日（土）千葉（自宅）10:30⇒東北道 白石IC⇒遠刈田温泉の神の湯の駐車場で車中泊（トイレあり）

○3月3日（日）

遠刈田温泉 8:00⇒すみかわスノーパーク駐車場 8:30⇒スキー場のリフト（第1 第2 第3）9:00 発

→
後見ゲレンデトップ 9:30 着 9:40 登山開始→聖山平→観光道路横断→大黒天より南のエコーラインに出る→ハイラインをショートカット→県営レストハウス 11:55→馬の背→熊野岳頂上 13:05→県営レストハウス→刈田岳 14:00→稜線を下山→後見休憩所→すみかわスノーパーク駐車場 16:00 着

○内容

3月3日（土）



すみかわスノーパークの第1、第2、第3リフトを乗り継いで、後見ゲレンデのトップに着き、そこより登山を開始する。夫がスノーシューを着け、私がワカンを着けて山スキーの人々と出発する。

聖山平より井戸沢に沿って直線的に刈田岳の登山口に向けて登る。山スキーの人達は稜線より山頂を目指

していたが、私達は樹氷を見る為、エコーラインからハイラインより刈田岳を目指すべく回り道をする。

エコー

ライン側の樹氷は、3月に入ると、大分小さく、壊れていたりしていて、ベストシーズンは終わりのようであった。ハイラインをショートカットして、樹氷原を直登すると、モンスターとまではいかないが、それなりの樹氷

が見られた。

更に歩を進め県営レストハウスの側を通り、馬の背を歩いて、蔵王連峰の最高峰の熊野岳（1840 m）に向か

う。海老の尻尾がついたポールを頼りに（道しるべの様に何本も稜線まで続いていた）避難小屋経由で熊野

神社のある山頂に着く。山頂からは遠く霞がかった空に、うっすらと朝日岳、月山、飯豊連峰などの白い峰々、

雪のつきが少ない南蔵王の山々が見えた。



すみかわスノーパークに向かう途中の道路からの刈田岳



歩き始めて20分位した地点からの刈田岳



県営レストハウスの前で



馬の背の熊野岳までの道（海老の尻尾のポールが続く）



熊野岳の頂上にて



刈田岳の頂上にて



刈田岳頂上の刈田嶺神社



刈田岳直下の稜線からのお釜



ハイライン近辺の樹氷



遠刈田温泉 上の湯（前の建物の左側は足湯）

その後、馬の背を通過して刈田岳に登り、雪に埋もれた神社でお参りし、下山を開始する。下山は、アイゼンを付けて稜線を一気にエコーラインまで下る。エコーラインを横断し、そこから後見ゲレンデトップを目指

す時に

アイゼンを外して、スノーシュー、ワカンに履き替え、下山する。ゲレンデの左側を歩き、後見休憩所脇を通り、

すみかわスノーパーク駐車場を目指して長い下りを歩く。駐車場着 16:00.

その後、遠刈田温泉の神の湯（共同浴場、330円）で、汗を流し帰路に着く。

○今回の山行を終えての感想

・樹氷が見たくて計画したが、樹氷がもっと凄くモンスターの様に成長した樹氷が見たいのであれば、2月に

計画しなければ駄目なのだなと思った。

・来年また計画し、天気の良い日をねらって、宮城県側から山形県側へ横断してみたいと思った。

（山形県側の樹氷も見たいと思った）

・神の湯は料金が安くて良いが、ボディソープとシャンプーがない。それが置いてあれば、料金がもう少し高くても良いのにな、と思う。